

檀原市立図書館だより

令和5年 3月31日発行

第45号

檀の樹

今年度のできごと

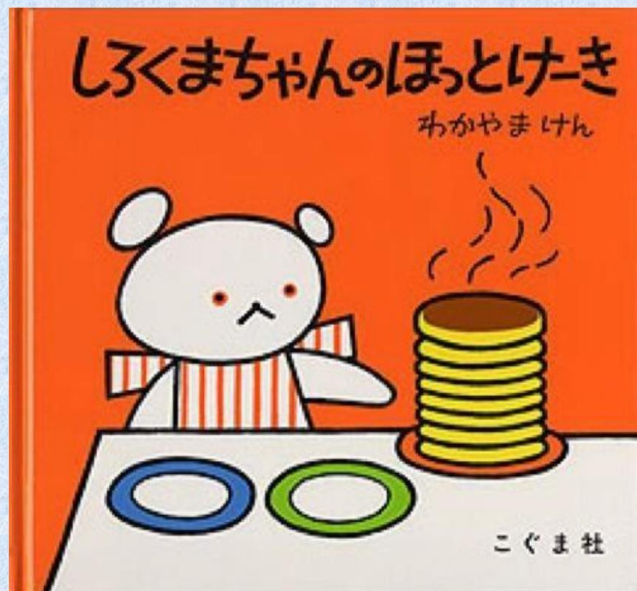
図書館員の本棚

編集後記など



しろくまちゃんの
ほっとけーきを
たべたいな

ペンネーム…くまさん



「しろくまちゃんのホットケーキ」 わかやま けん/作 もり ひさし/作 わだ よしおみ/作 こぐま社/出版

今年度のできごと

新聞コーナー移動（5月）

開館当初から1階のソファ付近にあった『新聞コーナー』を2階に移動しました。それに伴い資料複写申請書などの置き場所も変更しました。



こどもと本のひろば新設（10月）

新聞コーナーがあった場所に『こどもと本のひろば』を作りました。子育て中の保護者の皆様に図書館でゆっくりくつろいでいただきたいという思いで、床にジョイントマットを敷き、木の温もりを活かした本棚を設置し「子どもにおすすめの本」や「子育てに関連する本」を集めました。



ビブリオバトル（大学連携事業）開催（12月）

檀原ビブリオバトル部さんの協力のもと、初の大学連携事業として、ビブリオバトルを開催しました。当日は、天理大学の学生さんが司会進行役を務め、スムーズな進行でバトルが盛り上がりました。



図書館員の本棚 (28)

『新種発見！見つけて、調べて、名付ける方法』

馬場 友希／編著 福田 宏／編著 (山と溪谷社)



あの鳥や虫、草木の名前は？など、子どもと過ごす中で、生物・植物・動物などの自然科学に関する本を読む機会が増えました。ご紹介するのは、思わず手にとってしまった生物に関する一冊です。表紙には生き物のイラストが鮮やかに描かれており、ページをめくる前から何だかわくわくしました。

著者の一人である馬場氏が、コロナ禍で外出できない中、唯一の楽しみだったインターネットで毎日眺めていた Twitter のタイムライン。そこで、新種発見に関する面白いツイート(これを発信したのがもう一人の著者である福田氏)に出会い、「#新種発見のエピソード」というタグを作ります。すると、新種発見のエピソードが次々と集まり、やがて出版社の目にとまり一冊の本となります。

本書は、新種発見のシチュエーション別に整理された、総勢 21 名による全 19 種のエピソードから成り立っています。「ハシリグモ」のエピソードでは、著者である馬場氏の長年クモを採取してきたことで気付いた、クモへの些細な違和感が新種発見に繋がったという、研究者としてのクモへの情熱が語られています。「ヨコエビ」のエピソードでは、釣りに行った際に、親子で偶然新種を発見した方の、ヨコエビとの出会いから新種として記載されたその後までの物語に、冒険小説を読んでいるようで胸が高鳴ります。また、「クマムシ」のエピソードでは、顕微鏡でしか見えない姿でありながら、地上最強生物と呼ばれる理由が紹介されています。乾眠(生きていることを止めた)状態では、絶対零度でも、電子レンジでチンしても、大量の放射線を浴びせても、マリアナ海溝の一番深い場所の数十倍もの水圧にさらしても、宇宙空間に 10 日間放り出しても、水をかければ元気なるのだそうです。そんなすごいクマムシですが、実は私たちのすぐそばにいるのだとか。

他にも、紹介されている植物、菌類、動物、化石に刻まれた古生物のエピソードは、どれも新種発見の驚き、喜びを自分が体験したかのように感じさせてくれます。各エピソードで、その生き物についての新たな知識を得られることも本書の魅力ではないでしょうか。また、現代ならではの Twitter の投稿やデータベース等が新種発見のきっかけになったという、新たな分類学の展開についても、エピソードを通じて知ることができます。

「新種発見はもはや人類未踏の地にしか残っていない」と思っていると、そうではないのです。地球上には、身近な場所に未知なる生物種が多く存在しています。新種発見の機会是谁にでも訪れるかもしれないこと、生き物の名前がどのように名付けられるのか、新種は登録や認定されるものではないことなど、新種発見について楽しみながら読み進められる一冊です。

私たちも、気付かぬうちに新種に出会っているかもしれません。

新春えほんカルタ

絵本のタイトルの文字からスタートして好きな絵本で作ったカルタを紹介する「新春えほんカルタ」応募作品を1月5日～2月15日の期間に絵本コーナーで展示しました



絵本の時間

新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止していた『絵本の時間』を2022年10月に再開
乳幼児をお連れの方のご参加をお待ちしております

日時：第4水曜日午前10時～正午

場所：図書館1階 こどもと本のひろば

内容：乳幼児と保護者のための絵本の紹介と対面による読み聞かせ

（編集後記）

模様替え 図書館だより「櫃の樹」の発行が年度末になってしまいました。大変申し訳ありません。今年度を振り返ってみると、「新聞コーナー」の移動、「こどもと本のひろば」の新設等、『模様替え』に明け暮れた一年でした。新聞架、本棚、記載台の移動は業者さんのお世話にならずに、職員だけで頑張りました。なかでも大変だったのは「こどもと本にひろば」に新しく置いた立派な木製本棚の搬入でした。市内某施設から譲り受けた本棚は全部で4台。高さ170cm幅90cmの本棚を台車で駐車場まで運び出し、トラックに積み込み、2往復して、なんとか無傷で図書館まで運び入れることができました。2022年夏の一番の思い出です。（編者）

橿原市立図書館

橿原市小房町11-5 ☎0744-29-2121 📠0744-29-1011

ホームページ <https://www.city.kashihara.nara.jp/>

Twitter @tosho_kagakukan



表紙 新春えほんカルタ応募作品（ペンネーム：くまさん作カルタ「しろくまちゃんのホットケーキ」こぐま社）